

2015 年 1 月刊行

1897年設立のパリ市の諮問機関「古きパリ委員会（CVP）」が、
いかに歴史的建造物保全に都市史的視点を導入して、その後のフランス
の豊かな都市景観の維持に大きく貢献している歴史的環境保全制度の展
開への基点となりえたかを明示する。

中央公論美術出版

江口 久美（日本学術振興会特別研究員） 著

パリの歴史的建造物保全

B5判上製函入 カラー口絵二頁 本文二八八頁 挿図一三〇点

本体価格一七、〇〇〇円＋税

ISBN 978-4-8055-0734-6 C3052

フランスの歴史的建造物保全に関しては我が国でも多くの研究がなされてきたが、1897 年設立のパリ市の諮問機関「古きパリ委員会 (CVP)」が果たした役割についてはいまだほとんど認知されていない。緻密なデータ収集と資料の精査をもとに、古きパリ委員会が有識者協会の視点から国の政策にまで影響を与えたことを明らかにする本書は、我が国における都市保存研究にも有意義な視点を提供する。

目次

第1章 本書の枠組み

- 1-1 研究の背景と目的
- 1-2 既往研究の整理
- 1-3 研究の対象と方法
- 1-4 研究の構成

第2章 19世紀の歴史的建造物の出現と都市風景へのまなざし

- 2-1 フランス革命後のナショナル・アイデンティティの形成と19世紀における歴史的建造物保全の出現
- 2-2 オスマニズムによる「パースペクティブ」な視点の出現と伝播
- 2-3 ポスト・オスマン期のヨーロッパにおける「ピトレスク」な視点への回帰

第2章のまとめ

第3章 19世紀のパリにおける歴史的建造物保全と風景観

- 3-1 オスマン期にかけての歴史的建造物制度の課題とセーヌ県による都市史研究
- 3-2 歴史的建造物保全をめぐる組織
- 3-3 1884年のパリ・モニュメント愛好協会 (SAMP)

第3章のまとめ

第4章 古きパリ委員会 (CVP) の設立と都市的視点の萌芽

- 4-1 1897年の古きパリ委員会 (CVP) の設立と「ピトレスク」という視点
- 4-2 歴史的建造物の点的保全制度による「古きパリ」の保全
- 4-3 20世紀初頭における CVP の初動期の活動

- 4-4 他都市への CVP 設立の影響：古きリヨン委員会・古きナント委員会・古きブリュッセル委員会

第4章のまとめ

第5章 考古学的・芸術的目録 (CAA) の作成と歴史的環境保全への展開

- 5-1 1916年の古きパリ委員会 (CVP) の考古学的・芸術的目録 (CAA) 作成と景勝地
- 5-2 考古学的・芸術的目録 (CAA) を成立させた建築家ルイ・ボニエ
- 5-3 考古学的・芸術的目録 (CAA) に見られる都市的視点 (ピトレスクな眺め)
- 5-4 ウジェーヌ・アジェの写真によるピトレスク概念
- 5-5 古きパリ委員会 (CVP) による広場の面的保全と都市的視点 (一体的計画性)
- 5-6 ル・タン紙にみられる古きパリ委員会 (CVP) への社会の関心

第5章のまとめ

第6章 1920年代以降の国の保全制度への反映と展開

- 6-1 1927年の国の歴史的建造物補助目録 (ISMH) への影響
- 6-2 1929年のパリ記念碑的眺望委員会 (CPM)
- 6-3 1943年以降の面的保全制度の展開

第6章のまとめ

結 論

- 1 各章で得られた知見の要点
- 2 総合的考察

資料編

謝 辞／索 引

関連書籍のご案内

[日本不動産学会著作賞・都市住宅学会賞受賞]

■パリの中庭型家屋と都市空間

鈴木 隆 著

本体価格 9,500 円 + 税

A5 判上製函入 本文 456 頁 挿図 56 点

ISBN 978-4-8055-0489-5 C3052 2005 年 2 月刊行

■パリ都市建築の意味——歴史性

松政 貞治 著

本体価格 44,000 円 + 税

A4 判上製函入 本文 590 頁 カラー 80 頁

ISBN 978-4-8055-0483-3 C3052 2005 年 1 月刊行

お取り扱い

中央公論美術出版

<http://www.chukobi.co.jp/>

〒104-0031 東京都中央区京橋 2-8-7

TEL 03-3561-5993 FAX 03-3561-5834